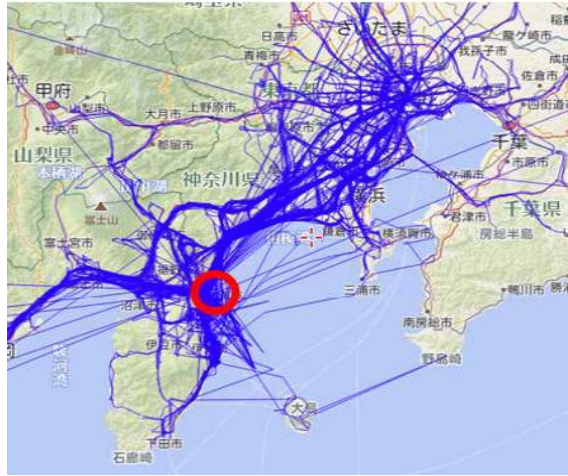
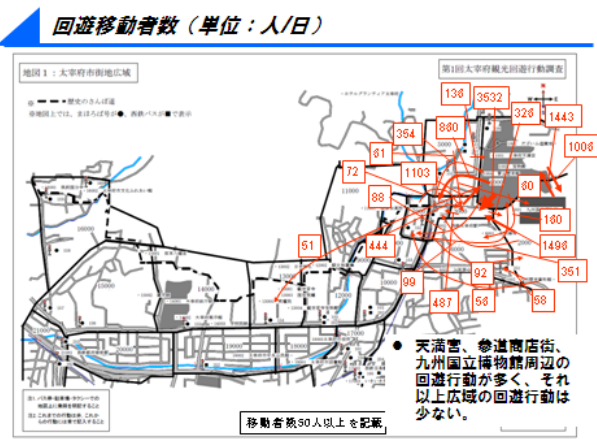


オートGPSによる広域地域の動態把握



出典：『じゃらん とりまかし』vol.26, 2011より

小地域における来街者回遊行動計測



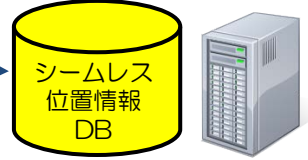
オートGPS, IMES等によって、個人の位置情報を収集

(1) 九州域内や代表的観光地内での回遊行動の把握
⇒ どこからどこへ何人訪れているのか?

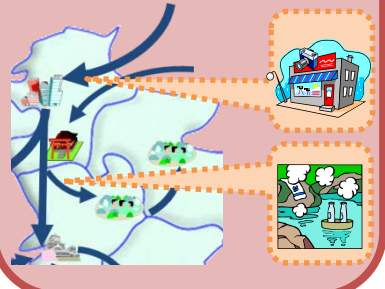
(2) 位置情報から行動目的や個人属性などを推定



位置情報
ログデータによる解析



(3) 情報提供による観光回遊の効果検証

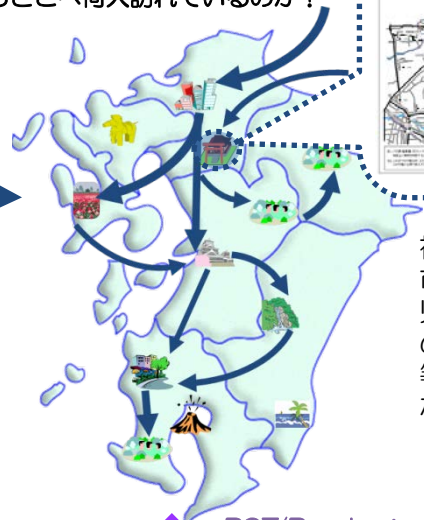


対象エリア



福岡市天神地区, 太宰府市周辺地区, 熊本市, 鹿児島天文館地区等の特定の地区においては、IMES等を設置して、より詳細な人の流れを把握する。

情報提供なし



RCT (Randomized Controlled Treatment) による
情報提供効果の検証

情報提供あり



対象エリア



広域からの観光集客と九州内での広域観光回遊の動態を、オートGPSとIMES屋内測位を活用し、(1)どのような観光客がどこから何人九州を訪れ、九州域内や代表的観光地内でのどのような回遊行動をしているかを把握するとともに、(2)位置情報から行動目的や個人属性などを推定し、(3)観光回遊の誘発にもっとも効果的な情報提供の在り方を検証できるシステムを開発する。